

たご とうみょうがさき さんしろうじま
田子 燈明ヶ崎遊歩道 三四郎島 堂ヶ島

伊豆半島の大地の遺産を歩く旅

GEOPARK FOOTPATH

西伊豆エリア

港町を巡る

動画配信中!



歩くたび新発見! IZU PENINSULA GEOPARK

ジオパークとは

ジオパークは、大地(ジオ)と公園(パーク)を組み合わせた言葉で、「世界遺産」や「エコパーク」とともに、ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)が世界中で進めるプログラムの一つです。ジオパークでは、地球科学的に価値のあるサイトを知り・守り・活用していくことで「持続可能な開発」を実現します。

伊豆半島ジオパーク ～南から来た火山の贈りもの～



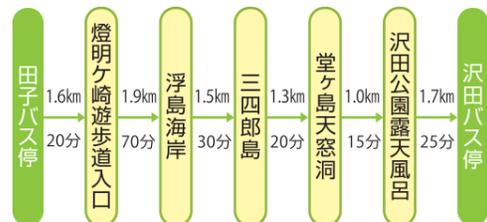
伊豆半島は2000万年前は南洋にあった海底火山や火山島の集まりでした。フィリピン海プレートの北上に伴ってかつての伊豆半島は徐々に北上。やがて本州に衝突し、60万年前にはほぼ今の形になりました。現在も続く火山活動や地殻変動は、伊豆半島に温泉や湧水、山地を造り、人々はその豊かな自然を活用して暮らしてきました。伊豆半島は「南から来た火山の贈りもの」だったので。

海底火山が描きだした 美しい縞模様が続く 港町を巡る。

堂ヶ島周辺の白く美しい海岸は、伊豆半島が海底火山だった頃の記憶を伝えています。縞模様の陰影が刻まれた断崖は、太古の海底火山の噴火で降り積もった火山灰や軽石、また海底を流れた水底土石流の地層が隆起したものです。この地域では、入り組んだ地形を活かして漁業が行われてきました。自然を生かした港町の風景と様々な自然の造形を巡ります。

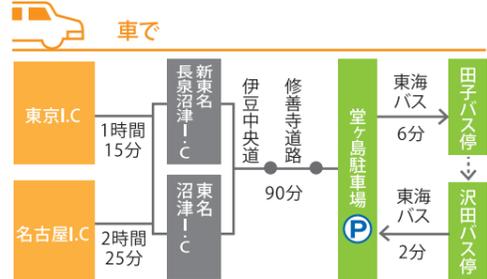


西伊豆エリアコース



アクセス

電車	
東京駅	特急「踊り子号」 2時間10分 東海道新幹線(ひかり) 44分
名古屋駅	東海道新幹線(ひかり) 1時間20分
新大阪駅	東海道新幹線(ひかり) 2時間10分
三島駅	伊豆箱根鉄道 40分
修善寺駅	東海バス 1時間25分
田子バス停	東海バス 6分
沢田バス停	東海バス 1時間35分



※現地駐車場は数に限りがあります。各自ご確認ください。

GEOPARK FOOTPATH 西伊豆エリア

美しい陰影が刻まれた大地 西伊豆エリアの 絶景ポイント



01 燈明ヶ崎・田子

燈明ヶ崎は、南伊豆、駿河湾、遠く南アルプスまでの海岸眺望が楽しめる絶景スポットです。灯台の前身「燈明堂」の痕跡が残されています。入り組んだ岬の地形はかつて伊豆水軍の拠点だったと言われています。



02 浮島海岸

太古の海底火山の噴火時に、地層を押し分けながら上昇したマグマの通り道「岩脈(火山の根)」を観察できます。海岸にそびえる板状の奇岩は、柱状節理による亀裂から作られており、かつてのマグマの通り道でした。



03 三四郎島のトンボロ

三四郎島は、海底火山の地下にあったマグマの通り道のなごりです。見る角度で、島が3つに見えたり、4つに見えたりすることから名づけられました。ここでは干潮時に、陸地と島がつながる「トンボロ現象」を見ることができます。

西伊豆町webサイトにトンボロ現象が見られる干潮時刻・潮高表があります。ご参考ください。
<https://www.town.nishiizu.shizuoka.jp/>



04 天窓洞

「天窓洞」は波が崖を削ってつくった「海食洞」の一つで、遊覧船で洞窟の中へ入ることができます。国の天然記念物に指定されています。



05 沢田公園

海底火山の噴火により、軽石・火山灰が降り積もった白色の海底火山灰層を間近に見ることができます。また、この火山灰層に仏像が描かれた「白岩山岩壁窟画」は、町の文化財に指定されています。



洞窟内に白岩山岩壁窟画が描かれています。

本格派にオススメ! ロングトレイル

気軽に楽しめる伊豆半島ジオパークフットパスに対して、20km~100km以上と距離が長く、宿泊を伴うロングトレイルを伊豆半島で行うのも魅力です。行程が長い分、自然や文化を楽しむことができます。特に年中ドライブできる伊豆半島は、四季折々のジオサイトを巡ることで、より奥深い体験ができることでしょう。



ロングトレイルイメージ

伊豆半島ジオパークフットパスの歩き方

ジオパークフットパスとは

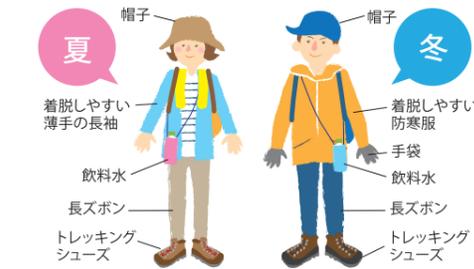
「フットパス」とは、イギリスを発祥とする歩くこと[Foot]を楽しむための小径[Path]です。森や川、海岸線、田園地帯、古い街並みなどの風景を楽しみながら、街から街へと歩きます。地域の自然や文化、歴史を歩くスピードで感じながら、地元の産品を味わう楽しみもあります。イギリスではフットパスが全土に網目のように張り巡らされています。近年、日本でもフットパス活動が始まり、各地の魅力を活かしたフットパスが整備されています。

地図の利用方法

コースがどこから始まり、どこを通って、どこへ至るのか。歩き始める前に地図を確認し、イメージをつかむことが大切です。歩きはじめたら、地図で現在地を確認し、次の目的地までの道のりを把握しましょう。道標が十分に整備されていないこともあります。分岐の目印となる「地形」や「ランドマーク」を必ず確認しましょう。

服装・道具

野山に入るため、長袖・長ズボン、トレッキングシューズで歩きましょう。日差しが強い地域が多いため、冬でも帽子をかぶりましょう。季節や天候によっては、手袋・雨具・防風防寒具も準備してください。水分が補給できる場所は限られます。飲料水は十分に用意しましょう。



その他/地図、非常食(おやつ)、常備薬、カメラ、携帯電話、双眼鏡など

歩き方

- 歩き始める前に準備運動をして、体をほぐすとともに足を慣らしておきましょう。
- ジオパークの雄大な景観や多様な自然を堪能しながら、ゆっくり歩きましょう。
- 休憩の目安は、1時間歩いて5分程度。無理な計画を立てずに時間に余裕をもちましょう。
- ゆっくり、小股で歩きます。足の裏全体をフラットに地面につけるのが基本です。

安全上の注意点

- ジオパークフットパスは、自然の中に入ったの活動になります。安全管理は自己責任が基本です。
- 天候の急変や体調の変化もあります。無理をせず、余裕を持って行動しましょう。
- 危険な生物(スズメバチ・マムシ・ヤマカガシ・ツタウルシ等)に注意しましょう。
- 携帯電話がつかない場所、スマートフォンの地図やGPSが使えない場所もあります。

自然環境の保護について

未来の子供たちが、今の自然環境を利用できるようにするためにも、環境の改変につながることは絶対に避けてください。自然公園法や文化財保護法などの法律で保護されている場合もあります。

- 動植物・岩石等の採集は禁止です。
- ゴミは持ち帰りましょう。
- むやみなたき火など禁止です。

お問い合わせ

- [バス] 東海自動車株式会社 ☎0557-36-1112
- [タクシー] 静岡県タクシー協会 ☎054-261-1401
- 西伊豆町役場 まちづくり課 ☎0558-52-1114
<http://www.town.nishiizu.shizuoka.jp/>
- 西伊豆町観光協会 ☎0558-52-1268
<http://www.nishiizu-kankou.com>

監修/伊豆半島ジオパーク推進協議会事務局
〒410-2416 静岡県伊豆市修善寺838-1 ☎0558-72-0520
<http://izugeopark.org>

制作/静岡県・観光政策課